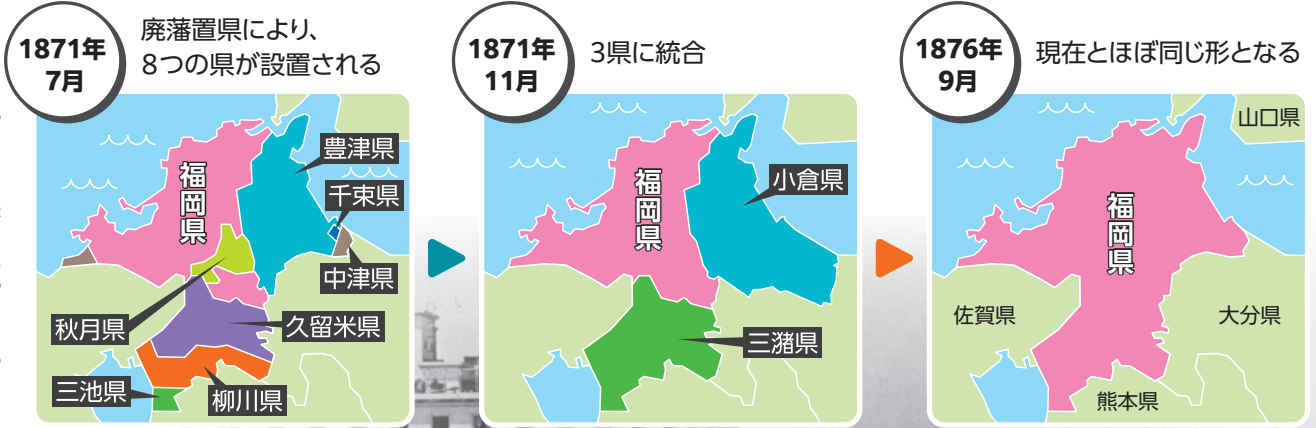


～ 福岡の昔、今、そして未来へ～

# 福岡県置県150周年

1871(明治4)年7月14日(旧暦)に行われた廃藩置県により、「福岡県」が誕生しました。「石炭と鉄」を柱に日本の近代化を支え、情報化や国際化の進展とともに、さらなる発展を遂げてきた福岡県。150年の節目となる2021(令和3)年、福岡県の歩みを振り返ることで、これからの未来を考えてみませんか。

福岡県の成り立ち



国内最大の石炭供給県として、明治末期には全国の3分の2を産出

1901

官営八幡製鉄所、遠賀郡八幡村に開業

福岡県150年の歩み

1876

小倉県、三潁県を統合し、ほぼ現在の福岡県域確定

1879

第1回福岡県議会開会  
初代議長に中村耕介氏

1871

廃藩置県、初の知事に有栖川宮熾仁親王



1951(昭和26)年の天神

1909

門司～鹿児島間鉄道開通



2代目博多駅(現在の出来町公園付近)。駅前には人力車がひしめく

1927

普通選挙法による初の福岡県議会議員選挙

1920

第1回国勢調査(人口218万8249人で全国5位)

1963

北九州5市合併、政令指定都市北九州市発足

1947

初の公選知事誕生

1942

世界初の海底鉄道トンネル関門海底鉄道トンネル開通

こんな人物も福岡に?

1922年、福岡市での講演を終え、門司港からドイツへの帰途についてアインシュタイン博士とエルザ夫人

